

梅木 加津子 議員



一括質問方式

- ①長浜なぎさの湯の湯の再開
- ②大洲城での城主体験と古民家活用事業
- ③子育て支援
- ④河川整備計画の変更原案と治水対策
- ⑤会計年度任用職員制度

長浜なぎさの湯の再開について

問 なぎさの湯は、市民に説明もなく廃止方針を出した。市民の皆さんから説明をするように求められていることに対してどう考えているのか。住民の皆さんから要望が出ており、説明会を実施してほしいと思っているがどうか。

答 なぎさの湯の廃止方針は、全員協議会で説明し、新聞報道にも取り上げられたところです。

また、要望された団体には、会長さんを通じて説明しています。利用者の皆様には、施設に廃止や相談窓口の設置についてのお知らせを掲示し、既に相談に来られた方もいます。地域には、自治会長さんなど地域の代表者への説明を予定し、合わせて地域の回覧でお知らせする準備を進めています。

また、地域の民生委員さんにも協力をお願いし、相談があれば長浜支所につないでもらうよう依頼する予定で準備しています。市ホームページでも、廃止のお知らせをしたいと考えています。

これらの対応を行うため、特に地域での説明会は予定していません。

子育て支援について

問 大洲児童クラブでは、静養室や手洗い場の確保が求められているが、どのように考えているのか。また、大洲児童クラブは将来的にどのようにするつもりか。さらに、学童保育を実施している各施設の支援員、親御さんの声をどのように把握されているのか。

握られているのか。

答 大洲児童クラブは、旧市立図書館を利用してするため、学校の空き教室や集会所を利用している児童クラブに比べ設備面で不便な点がある中で、その都度改善を行い、利便性向上に努めています。

専用室は、パーティションで一時的にスペースを確保し、急な体調不良等に対応しています。

手洗い場は、蛇口の増設やアルコール消毒液を使用し、衛生面に配慮していますが、よりよい環境を確保するため、他の部屋や別の施設の利用も検討しています。

なお、支援員や保護者の皆様からの意見の把握は、主任支援員と子育て支援課職員による担当者会を毎月開催し、ご意見、ご要望等の把握に努めています。

河川整備計画の変更原案と治水対策について

問 市長は、「河川整備計画の変更原案についておおむね評価できると考えている。最後のところで市民の皆さんが安全で安心して暮らせる河川整備計画となるよう精査していきたい。市民の声もいただき、地域として肱川流域としての声を国、

県に上げていきたいと考えている。」と答弁された。

具体的に何を要望し、何が実現し、残っている課題は何なのか。

答 要望内容としては、現行の河川整備計画の早期実現を求めるとともに、被害検証による河川整備区域の見直しや計画規模の拡大など、現行の河川整備計画の見直しをお願いしたものです。

今回の変更案は、目標流量が毎秒5,000m³から毎秒6,200m³に引き上げられ、7月豪雨と同規模の洪水を安全に流下させる計画であることや、上流域の整備や河道掘削等も新たに盛り込まれているなど、一般的に評価できるものと考えています。

残っている課題は、堤防の詳細な点検を継続して行い、浸透対策を計画的に実施するとともに、国、県、市が協力して総合的な内水対策を強化することも重要になると考えています。特に堤防整備や山鳥坂ダム建設が予定されている計画期間前期の10年間を少しでも短縮するよう、引き続き要望していきたいと考えています。